

第4回大河原町地域公共交通協議会《会議録（概要）》

■日 時：平成23年12月6日（火） 14時から15時40分まで

■場 所：大河原町役場大会議室

○出席者

委員：24名（内代理出席1名）

（欠席者2名 菅野次男委員、倉繁正弘委員）

事務局：4名

企画財政課：加藤 正明、井上 泰伸、木村 淳一、佐藤 圭一

協同組合地域活性化フォーラム（コンサルタント）：奥山修司、白石 奈々子

○次 第

●委嘱状交付

●報 告

報告1 車両運行委託事業者の決定について

報告2 デマンド交通システム導入事例視察について

●協 議

デマンド型乗合タクシー運行事業の収支計画について

《説 明》

《質 疑》

《協 議》

協議1 ④運行車両台数

協議2 ⑤運行日

協議3 ⑥運行時間

協議4 ⑦運賃

○配布資料・・・*の資料を公開

i *大河原町地域公共交通協議会第4回協議会 次第

ii *資料1 デマンド交通システム導入事例視察報告書

iii *資料2 大河原町デマンド交通システム導入に関する収支見込（事前配付）

iv *資料3 デマンド交通他市町実施状況

■第4回協議会 ※規則第6条により、会長（町長）が議長となり進行。

○委嘱状交付

12月1日付け県職員異動により、

大河原土木事務所技術次長の日野淳委員から後任の小林和重委員へ委員の交代となります。

町長（議長）挨拶：

大震災のあった特別な年も師走に入りまして、残すところ1カ月足らずとなりましたが、なにかとお忙しいところ多数ご出席を賜りまして厚く御礼を申し上げます。

また、先月16日の山形県高畠町と飯豊町のデマンド交通導入の先進地視察御苦労さまでした。当日参加できなかった委員の皆さんには、研修時の資料を配布し、本日も簡単な説明を加えさせていただきますので、視察の成果を委員全員で共有できればと考えております。

もう一つ重要な報告がございます。車両運行委託事業者の決定。車輛借上げ費用の協議も含め承諾を頂いたことをご報告いたします。本日の運行仕様収支計画の中で具体的に説明をさせていただきますが、町内のタクシー業者、仙南観光タクシー山田社長、中央タクシー岡崎社長には、本事業実施に向けて大きなお力添え、ご協力を賜りましたことをこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

これまでの協議の積み上げに加えまして、更に本日収支計画の協議を無事終えさせて頂くことになると、来年夏の運行スタートに向けて一層見通しが明るくなると受け止めています。

しかしながら、走らせて終わりということではございませんので、これからもまちなか再生総合プロデュース事業との関連、あるいは他の政策との連結に向けて、役場の中でも議論検討を深め、今後様々な事業の展開に繋げていければと考えているところであります。委員の皆様には特段のご理解とご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

それでは、第4回地域公共交通協議会、宜しくお願い申し上げます。

報告1

議長：「車両運行委託事業者の決定について」事務局からお願いします。

事務局：第3回地域公共交通協議会におきまして、デマンド型交通の運行委託事業者として、町内で営業している株式会社ミヤコーバス、仙南観光タクシー株式会社、有限会社中央タクシー3社で優先的に交渉するという事で、3社に意向をお伺いしましたところ、ミヤコーバスはタクシー事業に参入する意思はないということで辞退されました。仙南観光タクシー、中央タクシーから協議に参加するという返事を頂いて、11月22日と24日に内容、借り上げ料など協議をして一応の同意を頂いています。

詳細は後ほどの収支計画の中で説明させていただきますと思います。

報告2

議長：「デマンド交通システム導入事例視察について」お願いします。

事務局： 先月 11 月 16 日水曜日に実施いたしました乗り合い型デマンドタクシーの導入先進地の視察について、ポイントだけかいつまんで説明させて頂きたいと思います。全員に視察の概要についてお渡ししておりますが、研修に参加されなかった方には、研修時に配布された資料もコピーしてお渡し致しましたので、そちらの方もご覧になりながら話を聞いて頂きたいと思います。

まず、高畠町のデマンド交通システム。契機としては民間の地方交通バスが撤退していった中で、町民バス 6 路線を走らせ、最高で利用人数が年間 28,570 人ありました。運賃収入が 470 万位だった頃に、町からの運行委託費用が年間 1,900 万円かかっていたので、経費節減でデマンド交通システムを導入しました。

補助金の受給者が商工会ということで事業主体が商工会となって、現在に至っています。車両は高畠町で購入しています。商工会からタクシー事業者には、運転委託料を支払っています。システムは無線方式を取っており、今回の災害時にとても役立つということです。但し無線ですので、どのようなお客様がどのようなとき、何時に利用している等、顧客情報が蓄積できないという弱みがあります。料金は 500 円で町内を 3 エリアに分けて運行しています。デマンドにすることによって、町の支出が 1000 万円～1100 万円程度の補助に収まっています。運賃収入は 600 万円～700 万円位出ています。

間違いなく経費節減には役立ったと言えますが、利用者はバスのときに最大 28,570 人でしたが、現在デマンドですとほぼ半減の 14,200 名程度となっており、利用者で比べるとどうなのかなと思いました。

高畠町では、商工会が運行しているということで、まちの活性化に役立てるということの主眼目においてスタートさせています。高畠町はレトロな建物で統一したり、街並み整備でも有名ですが、デマンドでの行先は、郊外のスーパーや病院が殆んどという印象がありました。

午後から山形県の飯豊町の視察に伺いました。

パソコンを使ったシステムを導入しています。これまでのパソコンでのシステムはサーバーを事務所に置くという方法でしたが、飯豊町ではサーバーは導入会社の方で引き受け管理してもらい、通信でおこなうクラウド式でやっています。また車載されている機器もパソコンではなく、スマートフォンに切り替えました。

経緯は高畠と同じく、町民バスが空バス状態になっていて、経費節減ができないかどうかということで、デマンドを導入。現在ワゴン車 2 台、普通車 2 台でやっています。料金は 400 円から、町外も運行しているので 800 円まで幅があります。非常に特徴的なのは、隣の長井市のスーパーや病院、もうひとつ向こうの川西町まで運行していることです。そちらの利用がとても多く、町内の利用はそれほどでもないそうです。町外も含めて、利用率は山形県でナンバーワンという話を伺いました。

飯豊町では、病院やスーパーがあまりなく、町民の利便性のために町外まで運行し

ていますが、大河原町は逆の状況といえるかと思います。中核病院やバイパス沿いのスーパーが、飯豊町にとっての長井市のようなポジションになるのかと思いますので今後どのような対応になっていくのか協議が必要かと思います。

飯豊町の収支は、22年度支出が20,851,132円、収入8,278,132円で、約12,573,000円の赤字を町が負担しています。利用率が高くても赤字が出ていますが、安いシステムに切り換えたので、赤字の幅が狭くなることが予想されます。

利用促進支援策としては、免許返納者に対して回数券をプレゼントしています。また買物困難者、障害者福祉有償運送が難しい場合は、福祉タクシー券を発行したり、人工透析者への通院助成などがあります。町内商店を利用した方には、帰りに無料乗車券を進呈するなど、様々な支援策をとっています。

町民の好意的な意見としては、息子さんたちに迷惑をかけなくてよい。散策できる楽しみが増えた。バス停から歩くのが辛かった。安くて助かる。運転手さんが親切。離れて暮す孫達に食事を作りに行きやすくなった。など。

不満もあり、バスより負担増になった。(390円だったのに500円になった。)迎えが来てから仕度をする人がいる。見ず知らずの人との乗り合わせに抵抗がある。飲酒して利用している人がいた。(広い町なので)時間が不正確で通院には使えない。高齢者にとって電話予約が面倒だ。等、様々あるようです。

利用者は、7割が女性で全体の70%が70才以上で占めています。町外利用が35%で、町内だけで利用する人は少ないのが特徴です。

飯豊町は福祉関係施設が集積していて、その一角にオペレーションセンターがあり、高齢者に対するPRがうまく出来ているように見えました。

詳しくは資料をご覧ください。

議長：何かあればお受けいたします。《特になし》

それでは先に進ませていただきます。

デマンド型乗合タクシー運行事業の収支計画について

事務局：《資料2および附属資料の説明》

議長：収支計画について様々な条件設定をしながら、説明をしたわけですが、表の説明はおわかりになりましたか。ご意見を頂く前に、説明についてのご質問はございますか。

委員：一回目の会議で、住民生活に光をそそぐ交付金を活用するとありましたが、どのようになったか教えてください。

事務局：光をそそぐ交付金は既に交付されており基金化して使用しています。人件費とか委託費などソフト部分に利用できる基金です。今年度 700 万、来年度 500 万を使用する予定になっています。

この協議会自体も交付金で運営されています。また、来年度のオペレータ人件費も交付金からあてられます。

議長：他に説明についての質問があれば、先に受けさせていただきます。

委員：（高島町の場合）以前の町民バスではピーク時に 28,000 人を輸送していた、それが（デマンドになって）14,000 人に下がっているということも踏まえての算定ですか。

事務局：（大河原町の）収支計画では、町民バスを運行しておりませんでしたので、町民バスとデマンドの比較の人数は示していません。

委員：全体的に他の地域でも（巡回バス運行時よりも）利用者数が下がっていますよね。上り調子で算定したのか、減少傾向を加味したのかどうかを知りたいです。

事務局：路線バスの利用者数は 2 ページにあります。路線バスの乗車人数は 1 日 30 人ですが、あくまでも参考で、デマンドに変わったから何人乗るということではなく、これまで導入した他市町の東海村、保原町の実績を参考にした利用者数です。

委員：飯豊町では区間も地域も大きいのに 820（万円）位の収入、全体的に利用率が下がると出ているのに、940 万位の収入の見込みというのはどういう計算になっているのか。

事務局：資料 3 をご覧ください。8 番に飯豊町の状況が載っています。飯豊町は月曜から金曜日までの運行です。それと同じように大河原町も月曜日から金曜日までの運行にすると 840 万円の収入となりますので、シミュレーション上、飯豊町とほぼ同じ位の収入になります。

議長：5 年間の推移としては、同じ水準が維持されるというシミュレーションですね。

事務局：これまでの他の実績を見ると、2 年度目が 10%、3 年目が 20%と増加する傾向も見られますが、そのようなことは一切見ないで、同じ状況で続くというようにしています。

委員：7 ページの「2 分の 1 の原則を達成するために」②, ③について。「役場や商工会等の一角にオペレーションルームのみを設けるのであれば、更に経費の削減が可能」とありますが、実際に役場におく、とか決めて削減できるのではないか。「見込み」とか、「あれば」ということではなく、なるべくなら実際に近い金額で出してほしい。毎年（赤字が）1500 万円だと考えてしまうので、デマンドはやってほしいですが、試算というのはこういうものなのですか？

議長：触れ幅があつて、これは最大の見込み額。具体的に削減が図れるケースがあるのか、事務局、いくつかご説明下さい。

事務局：例えば予約システムの費用ですが、現在は一番高額なシステムを見込んでいます。選定の段階になると見積もりやご提案を頂いて決めますのでこの金額は圧縮されるはずです。

また、待合所は、システムのオペレーションセンターだけだと視察で見ていただいた程度のスペースで間に合いますが、大河原町の場合はプラスアルファの機能として、商店街への集客や地場製品の販売所との併用なども考えています。（複合機能・施設との）面積案分などで経費を削減することは可能です。あくまでも最大限の支出を見込んでいます。

委員：3 ページ、オペレータの人件費について。4 人雇用と 3 人雇用がありますが、条件設定の理由は？

事務局：（人数ではなく）必要な時間で計算しています。土曜も見込んだ場合、余裕を持って確保しておいた方が安全ということで、4 人を設定しました。決められた時間を回せるのであれば 3 人でも 4 人でも良いという考えです。

議長：タクシー事業者さんは、どうお考えですか？

委員：3 人もいない。

委員：私は 1 人でやらなくてははいけないと思います。

奥山：オペレーション的には 1 人でやらなくてははいませんが、電話回線上、利用者の 7 割から 8 割が、午前中に電話をしてまいります。電話をとる人を置くということで、午前中に多く配置をするということです。パートの場合、午前中だけ働きたい方、1 日中働きたい方がいらっしゃるの、どれだけの時間を必要としているか、費用を最大

にするということでこのような試算にしています。

その他にも（待合室の利用者に）お茶を出したり、暇な時間帯にはサービス向上に向けての付帯なことをやってオペレータ雇用を活かしてほしい。

委員：付帯的なこととはなんですか。

奥山：将来的には、高齢者の方にも携帯端末を持っていただくことも考えており、その指導をしたり、健康増進のための団体予約を企画したり、オペレータが中心になってサービスを増やしていくことを考えています。

議長：3人くらいの想定で今日の議論は進めさせて頂きたいのですがよろしいでしょうか？

委員：前日までの予約という前提でよいですか。

奥山：いいえ。予約は1週間前から30分前まで可能です。そのルールは今後取り決めていきます。

事務局：現在、利用当日の30分前（までの予約）がサービスの内容としては一番充実しています。

議長：資料3のシステム予約を参考にしてみてください。

説明に対して質問はありますか。協議に入ってよいでしょうか。協議を進めさせていただきます。

協議1 ④運行車両台数

議長：車両について、ワゴン車2台、普通車2台でよろしいでしょうか。《承認》

協議2 ⑤運行日

議長：要望があれば土曜日運行もやぶさかではないですが、スタートは、月曜から金曜、国民の祝日と12月29日から1月3日までを除くと考えております。

ご意見賜りたいと思います。アンケートの結果は病院利用が一番多かったもので、土曜日は利用者が減るという予測です。

委員：12月29、30日は人の動きがとても多い。町内の活性化をにらんでのものであれば、運行ご検討ください。

委員：病院の関係で土日祭日休むというのであれば、1月4日から病院はやっていますか？

議長：中核病院はやります。民間は様々ですが。12月29日、30日の件は、今後の議題としていただければと思います。

委員：それをいうなら、初売りも。

議長：その日は、(タクシーの) 営業の実をあげてください。

委員：えそこホールなど、土曜日はイベントが結構あるのでは。

事務局：デマンドが全ての需要に応えられるわけではありません。土日のイベントなどには対応できないかと思えます。

議長：しかし、要求が高まってくれば、土曜日の運行は検討するというご理解で、月曜から金曜日、祝日、12月末は議論する、三が日は休むということで、まずはスタートを切りたいと思います。

委員：(運行の) 基準をちゃんと立てておかないと、大変だと思う。予算に関係する。始めからはっきりと線を引いた方がいいと思います。デマンドも(タクシーと)一緒に考えると大変になる。

議長：発展性を持って考えていくけれど、スタートは一定の設定で進めさせていただく。簡単になし崩しにするということではありませんが、運行しながら要望を受け止めて検討して皆さんのご意見をうかがって運行します。

他にありますか？では、運行日については、月～金、国民の祝日は休み、12月29日から1月3日まで休みということではまずスタートさせていただきます。《承認》

協議3 ⑥運行時間

議長：案は午前8時から午後5時までということですが、ご意見頂きたいと思えます。

委員：以前の資料では7時とあった気がします。

デマンドを利用して、学校や仕事に直接行く人はいなくても、駅に行く人がいると思います。病院とか開業医とかは、開始がほとんど9時だから、出来るだけ早く行きたい。7時からのほうが利用価値が高いと思うのですが、いかがでしょうか？

議 長：皆さんからのご意見を賜ります。タクシー会社さんから要望はありますか。

委 員：7時はJRの乗り継ぎで利用する場合は、遅くなると思います。特に雪が降った場合などは厳しいです。7時から8時の間の需要は少ないです。

事務局：タクシー会社さんには単価の時もご配慮頂ましたが、大河原町は他の地域よりも運行実績が高くなっています。午前中のタクシーの需要も非常に大きい。

（ただし）7時台で運行しているところは、スクールバスの代わりに運行しており、通勤の重要ではないようです。また7時～8時、午後5時以降は路線バスも運行されており、競合してしまうなどの様々なことを配慮して8時からの運行としました。

委 員：終了が17時までとなっているが、経費削減のために16時終了でも、お客さんに支障はないと考えます。

議 長：スタートを切って、検証しながらやっていくという範疇かご理解頂ければと思います。

委 員：開始の8時、終了の17時の意味合い（運行イメージ）を教えてください。また、運行時間の間隔を教えてください。

事務局：8時は、1日の最初の利用者が乗車する時間。間隔を30分と見込んでいますので、16時30分が最終乗車と見込んでいます。

委 員：オペレータは7時30分前からの勤務ですか。

議 長：そうなります。

それでは、この運行時間でスタートを切らせてよろしいでしょうか。

スタート時間は8時、30分間隔で運行して、17時に運行が終了するという計画にさせて頂きます。《了解》

委 員：17時までに戻れない場合はどうなるのでしょうか？

事務局：予約の段階で17時までに戻れるかどうかを判断して、戻れない場合は予約を受け付けないことになると思います。

協議 4 ⑦運賃

議長：町内どこから乗ってもどこに降りても 1 回 300 円という提案です。

委員：決算を見ると、安くしてほしいと言いつらいけど、200 円だとたくさん利用するかな。行き帰りも乗るとなると 600 円になる。病院に行った帰りに買い物するとなると、帰りも利用します。同じ日に乗ったら割引にしてほしい。200 円が難しいなら、そのようなことを考えて欲しい。年金生活者にとってはありがたい。

議長：収支を考えると厳しいが、200 円に出来ないかというご要望でしたが、路線バスを考えるとどうですか。

事務局：駅から北白川まで 280 円。それを下回ってしまうとバス業者を圧迫してしまいます。300 円というのは、一般の方の料金。今後、障害者や小学生等、福祉の政策として割引が考えられるかと思えます。回数券、チケット制を導入するかどうか、現在検討最中です。チケットだと 11 回券を 3000 円で販売できるとか。検討させて頂いています。

委員：バスの単価に合わせる必要はないと思います。大河原町内で出かける際にタクシー以外町の中の交通機関がない地域がほとんどです。そのようなところでバスの単価は考えなくても良いのでは。

委員：無料で移動できるのが一番良いのかもしれませんがそういうわけにいかない。財政負担を考えなければ。税を 70 歳代だけに突出して投入していいのか、全体のことを考えると私は妥当ではないと思います。

議長：政策的に割引対応するケースは別途考えていきたいと思えます。回数券については検討に値すると思えます。他にご意見あれば。

委員：割引の対象者についてはどれくらい考えていますか。

議長：具体的に水準を決めるのはこれからになります。福祉タクシーも町で進めていますが、その様なものをどう取り込んでいくかという議論は当然必要になると考えています。

委員：回数券もいいのですが、商工会で利用者に商品券など活性化につながるように工夫して頂くのと、重度心身障害者の福祉タクシーに関しては、今後もなお拡充していくという方向でよろしいでしょうか。

議 長：そういう議論を進めたいと思っています。

委 員：障害者についてはJRでもなんでも割引になっている。障害者の割引を是非実現させてください。

議 長：政策の議論としてやらせて頂きます。

奥山：今日料金が決まりましたら、それに基づいての割引料金ならびに、どのような方が利用できるのかという利用者規定を提案いたします。車いすでの利用を認めるのかなど、すぐにできることと、長期の目標として掲げることを整理させて頂いて、次回の協議会に提案させて頂きたいと思います。

議 長：協議会の中でみなさんのご意見も頂きながら議論をしていきたいと考えています。運賃は1回300円ということによろしいでしょうか。《承認》
以上で、本日の協議は全て整いました。皆さんご協力ありがとうございました。

その他

事務局：デマンド交通に対する県の助成制度について、本日おいで頂きました宮城県総合交通対策課の千葉主幹に教えて頂ければと存じます。

千葉主管：宮城県で市町村の住民バスに補助金を出させて頂いています。

35市町村のうち対象となっているのは26ございます。路線数は32（確認中）系統が補助金の対象になっています。

補助金の算定方法は、欠損額補助となっていますが、赤字全てを補助対象ということではありません。いくら収入があるかが重要になってきます。運行収入として入ってきたお金からかかった経費の上限枠を決めさせていただいて、収支率といいます。収入を経費で割り返して何パーセント収益が見込まれているかを掛けさせて頂いています。収益が少ないと補助金の額も少なくなります。

今の議論を拝見いたしましたところ（大河原町のデマンド交通も）対象になるかと考えられます。手順は事務局の方とご相談させて頂きます。

司会：次回の大河原町地域公共交通協議会は、平成24年1月24日（火）午後2時からとさせていただきます。これで本日の協議会の一切を終了いたします。